

2025年10月31日
九州電力株式会社

2025年度(2026年3月期) 第2四半期(中間期)決算についてお知らせします

2025年度第2四半期(2025年4月1日～2025年9月30日)の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、決算短信及び決算説明資料をご参照ください。

1 2025年度第2四半期(中間期)決算概要

当第2四半期の業績につきましては、小売販売電力量の減少はあったものの、燃料価格の下落に伴う燃料費調整の期ずれ影響や、託送収益の増加及び火力発電構成の差異に伴う発電単価の低下による燃料費の減少などにより、前年同期に比べ増益となりました。

収入面は、国内電気事業において、小売販売電力量の減少などにより小売販売収入等が減少したことなどから、売上高は前年同期に比べ2.0%減の1兆1,277億円、経常収益は1.8%減の1兆1,454億円となりました。

支出面は、国内電気事業において、燃料価格の下落などにより需給関係費用が減少したことなどから、経常費用は7.8%減の9,801億円となりました。

以上により、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前年同期に比べ増益となり、経常利益は1,653億円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,232億円となりました。

連 結 (億円、%)

	当第2四半期 (2025年4～9月)	前第2四半期 (2024年4～9月)	増	減	増減率
経 常 収 益	11,454	11,664	△	209	△ 1.8
売 上 高 [再 掲]	11,277	11,511	△	233	△ 2.0
経 常 費 用	9,801	10,631	△	830	△ 7.8
経 常 利 益	1,653	1,032		620	60.1
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	1,232	742		489	65.9

(参考) 主要諸元表

	当第2四半期 (2025年4～9月)	前第2四半期 (2024年4～9月)	増	減
小売販売電力量(億kWh)	350	377	△	27
卸売販売電力量(億kWh)	148	123		25
総販売電力量(億kWh)	498	500	△	2
原油 CIF 価格(\$/b)	74	87	△	13
為替レート(円/\$)	146	153	△	7
原子力[送電端](億kWh) (設備利用率(%))	141 (80.8)	142 (81.5)	△	1 (△ 0.7)

(注) 販売電力量は当社及び連結子会社(九州電力送配電㈱、九電みらいエナジー㈱、九電ネクスト㈱)の合計値(内部取引消去後)

2 2025 年度中間配当

2025 年度の中間配当につきましては、普通株式 1 株につき 25 円といたします。

3 2025 年度(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)業績予想

2025 年度の業績予想につきましては、至近の需給動向等を踏まえ、修正いたします。

売上高につきましては、前回公表値からの変更はなく 2 兆 2,500 億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、燃料費調整の期ずれ影響や、夏季の高気温によるエリア電力需要の増加などにより、前回公表値を上回る 1,900 億円程度となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回公表値を上回る 1,400 億円程度となる見通しです。

連 結

(億円、%)

	今 回	前回公表 (4月)	増 減	増減率
売 上 高	22,500	22,500	—	—
営 業 利 益	2,100	1,800	300	16.7
経 常 利 益	1,900	1,600	300	18.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,400	1,200	200	16.7

(参考) 主要諸元表

	今 回	前回公表 (4月)	増 減
小売販売電力量(億kWh)	689	704	△ 15
卸売販売電力量(億kWh)	300	277	23
総販売電力量(億kWh)	989	981	8
原油 CIF 価格(\$/b)	74	80	△ 6
為替レート(円/\$)	148	145	3
原子力[送電端](億kWh) (設備利用率(%))	285 (82.0)	292 (84.1)	△ 7 (△ 2.1)

(注) 販売電力量は当社及び連結子会社(九州電力送配電機、九電みらいエナジー機、九電ネクスト機)の合計値(内部取引消去後)

4 2025 年度期末配当予想

2025 年度の期末配当予想につきましては、前回公表値から変更はなく、当年度の業績や中長期的な収支・財務状況などを総合的に勘案し、普通株式 1 株につき 25 円(年間 50 円)の配当を実施する予定です。

以 上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。